

# 「反応制御でエネルギーと環境の未来を拓く ～さきがけ若手研究者たちの挑戦～」

研究総括

【開催日時】2022年1月8日（土）13:00～18:00

【参加申込み】<https://form.jst.go.jp/enquetes/reaction-sympo2021>



関根 泰

【開催形式】オンライン開催（Zoom Webinar）

【参加費】無料 [事前登録制] **当シンポジウムの登録は締め切りました。**  
定員に達しましたら締め切りますので、お早めにご登録下さい。

【問合せ先】国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略研究推進部

さきがけ「反応制御」領域担当 [controlled-reaction@jst.go.jp](mailto:controlled-reaction@jst.go.jp)

## 【プログラム】

13:00～13:10 開会挨拶と研究領域の紹介（さきがけ「反応制御」関根 泰 研究総括）

13:10～13:30 基調講演① 関根 泰（早稲田大学 理工学術院 教授）

「反応制御でエネルギーと環境の未来を拓く」

13:30～13:50 研究発表① 数間 恵弥子（理化学研究所 開拓研究本部 研究員）

「分子-金属界面の構造制御に基づくプラズモン誘起化学反応の制御」

13:50～14:10 研究発表② 平井 健二（北海道大学 電子科学研究所 准教授）

「ラビ分裂による化学反応操作法の確立」

14:10～14:30 研究発表③ 田中 淳皓（近畿大学 理工学部 講師）

「光照射波長によって電子移動・化学選択性が変化するプラズモニック光触媒の創製と物質変換反応」

14:30～14:50 研究発表④ 亀山 達矢（名古屋大学 工学研究科 准教授）

「量子分割によるヘテロ接合ナノ粒子光触媒の超高効率化」

14:50～15:00 休憩

15:00～15:20 研究発表⑤ 北野 政明（東京工業大学 元素戦略研究センター 准教授）

「ヒドライドイオンの光励起により駆動するアンモニア合成触媒の開発」

15:20～15:40 研究発表⑥ 古山 溪行（金沢大学 理工研究域 准教授）

「光触媒の能動的制御による近赤外光合成プロセスの開発」

15:40～16:00 研究発表⑦ 鈴木 康介（東京大学 大学院工学系研究科 准教授）

「金属酸化物クラスターによる多電子・プロトン移動触媒の創製」

16:00～16:20 研究発表⑧ アルブレヒト 建（九州大学 先端物質化学研究所 准教授）

「電界による能動的軌道変形を利用した化学反応技術の創出」

16:20～16:30 休憩

16:30～16:50 研究発表⑨ 稲木 信介（東京工業大学 物質理工学院 准教授）

「外部電場により駆動するワイヤレス電解反応システムの構築」

16:50～17:10 研究発表⑩ 天野 史章（北九州市立大学 国際環境工学部 准教授）

「電解還元法による酸素酸化反応プロセスの構築」

17:10～17:30 研究発表⑪ 高橋 康史（金沢大学 ナノ生命科学研究所 教授）

「ナノスケールの電気化学イメージング技術の創成」

17:30～17:50 基調講演② 中井 浩巳（元理論化学会会長 早稲田大学 理工学術院 教授）

「研究開発のDXにおいて理論化学・計算化学の果たすべき役割」

17:50～18:00 閉会挨拶（さきがけ「反応制御」関根 泰 研究総括）



数間 恵弥子  
（理化学研究所）



平井 健二  
（北海道大学）



中井 浩巳  
（早稲田大学）



田中 淳皓  
（近畿大学）



亀山 達矢  
（名古屋大学）



北野 政明  
（東京工業大学）



古山 溪行  
（金沢大学）



鈴木 康介  
（東京大学）



アルブレヒト 建  
（九州大学）



稲木 信介  
（東京工業大学）



天野 史章  
（北九州市立大学）



高橋 康史  
（金沢大学）